

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	(大洲総合運動公園)土木建築部 公園・生活排水課 (大分県立総合体育館)教育庁 体育保健課
評価対象期間	平成22年4月1日～平成24年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大洲総合運動公園及び大分県立総合体育館	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分市青葉町1番地		
	設置目的	<p>(大洲総合運動公園) 工業地帯と市街地を遮断する緩衝緑地帯として、また県民の健康と体力の維持増進を図り公共の福祉の増進に資するため、各種スポーツ施設を備えた運動公園として設置。</p> <p>(大分県立総合体育館) 県民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、総合体育施設を備えた体育館を設置。</p>		
指定管理者	名称	大分県公園協会・ファビルス共同事業体		
	代表者名	代表団体 財団法人大分県公園協会 理事長 梅崎 健次郎		
	所在地	大分市青葉町1番地		
指定管理業務の内容	<p>(大洲総合運動公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の維持管理及び修繕に関する業務 ・公園の利用の受付及び案内に関する業務 ・公園の利用の許可に関する業務 ・公園の利用促進に関する業務 <p>(大分県立総合体育館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体育施設の維持管理及び修繕に関する業務 ②体育施設の利用の受付及び案内に関する業務 ③体育施設の利用の許可に関する業務 ④体育施設の利用の促進に関する業務 ⑤前各号に掲げるもののほか、教育委員会が特に必要と認める業務 			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日(3年間)			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		36
(1)施設の設置目的の達成			
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	20	5	20
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			

<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園・大分県立総合体育館)</p> <p>○ 各年度とも年間目標利用者数を達成している。目標指標361,000人に対しH.22は422,153人 達成率116.9%、H.23は435,755人 達成率120.7%</p> <p>(大洲総合運動公園)</p> <p>○ 利用者数は21～22年度は順調に前年比増加していたが、23年度は新大分球場の大幅な改修工事が実施された影響で、前年比13,310人減少した。しかしながら、「テニス無料レッスン」や「アクアダイビング教室」、「大洲公園散策ウォーキング教室」等様々なイベントの開催や、園内花壇の整備を進める等、利用者減少への緩和策を年間を通して行ったことは評価出来る。</p> <p>(大分県立総合体育館)</p> <p>○ 23年度の利用者は274,965人で22年度に比べ26,912人、21年度に比べると45,618人増加した。主な要因はトレーニングルームで女性や年配者でも気軽に利用できるよう適切で効果的な指導やレスミルズプログラム(体幹トレーニング)を中心に親子参加型教室等様々な自主事業(教室)の展開による効果がでてきており、22年度末にトレーニング室のマシンを入替・整備したこと、また、教室やイベント等のチラシを作成し、周辺世帯へポストイングしていることも成果を上げている一因と考えられる。</p>			
(2) 利用者の満足度			
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園)</p> <p>○ 利用者満足度調査(アンケート)は22年度までは期間を定め実施していたが、23年度は11月からアンケートボックスを常設し、より多くの利用者から意見を聴取する努力を行っていることは評価できる。</p> <p>○ また、利用者の意見、苦情については、対応できるものは速やかに対応すると共に、調査結果をまとめ、ホームページで公表している。</p> <p>(大分県立総合体育館)</p> <p>○ 「お客様の声BOX」を設置し、お客様からの意見に対しては、翌日には掲示板に回答を掲示し、連絡先のあるものはその日のうちに電話で回答するようにしており、また、トレーニングルームの女性の利用者が増えたことに伴い、女性からの意見が増加している。意見の内容・改善方法については毎日のスタッフ会議で共有するなど、アフターフォローが的確にできている。</p>			
2 効率性の向上等に関する取組み	30		24
(1) 経費の低減等			
①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	20	4	16
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園・大分県立総合体育館)</p> <p>○ 電気の受給契約を22年11月に九州電力(株)から新日鐵エンジニアリング(株)に変更し、割引サービス等を利用して料金の縮減を図っている。23年度は、夏の高校野球選手権大会が始まる前に、新大分球場の水洗トイレ50箇所節水コマを取り付け、水道に係る経費縮減を図っている。また、下水道料金を支払う必要のない、グラウンドや花壇等の散水口にメータを取り付け、下水道に係るコスト縮減を図っている。さらに、球場や体育館等の主要施設の手洗蛇口25箇所を自動化することにより、感染症対策に併せ節水対策を行い経費縮減を図っていることは評価出来る。</p>			
(2) 収入の増加			
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	10	4	8

<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園・大分県立総合体育館)</p> <p>○ 年間目標使用料収入を達成している。目標額50,000,000円に対しH.22は51,259,235円 達成率102.5% H.23は52,880,676円 達成率105.8%</p> <p>(大洲総合運動公園)</p> <p>○ 22年度の利用料金収入は14,740千円で、前年比904千円増加したが、23年度は13,302千円で、前年比1,438千円減少となっている。これは新大分球場の改修工事や軟式球場のグラウンド打起こし工事が冬から春にかけて行われ、利用者の少ない冬期に、プロ選手の自主トレや大学野球部の合宿利用ができなかったこと等が要因と考えられる。</p> <p>(大分県立総合体育館)</p> <p>○ 23年度の利用料金収入は39,579千円で、22年度に比べ3,060千円、21年度に比べると4,207千円増加した。主な要因は各種自主事業の展開に加え、トレーニングルームのマシン入れ替えにより、幅広い目的の利用者の獲得ができてきていること、また、チラシを作成し継続して近隣エリアへ配布し続けたこと、さらには、トレーニングルームでのスタッフの適切・積極的な指導によるものと考えられ、女性利用者が非常に増えている。</p>				
3	公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30	24	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況		15	4	12
①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。				
②職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか。				
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。				
<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園・大分県立総合体育館)</p> <p>○ 公的団体と民間企業が連携・協力し、共同事業体連絡調整会議を設け、合理的な管理運営が行われている。</p> <p>○ 職員の資質・能力向上を図るため、国や県等外部主催の各種研修会や講習会に積極的に参加している。また、人権同和問題・施設の安全管理等をテーマに共同事業体の幹部による研修会を毎月開催し、それに基づきスタッフへの周知を図っている。</p> <p>○ 地元自治会・住民団体・各企業・スポーツ連盟・学校等に公園内の清掃に参加してもらっている。</p> <p>○ また、高齢者就労支援及び地元住民参加の一環としてグラウンド整備や清掃業務等を行う作業員についてはシルバー人材センターと連携を取り、地元住民を優先的に派遣してもらっている。</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブや各スポーツ団体・サークル等と連携協力し、無料体験会やカルチャー教室等を開催するとともに、それらを支援するため掲示板やホームページの『体育館だより』等で活動状況を掲示している。</p> <p>○ 中学校や大学等と連携をとり、「青少年育成・社会教育事業」として職場体験学習等の受入を行っている。</p> <p>○ 地元の公民館や自治会に、イベント等のポスターの掲示や回覧をお願いしている。</p> <p>○ 地元住民に花壇づくりを協力していただいている。</p>				
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など		15	4	12
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。				
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。				
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。				
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。				
⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				
<p>【評価の理由】</p> <p>(大洲総合運動公園・大分県立総合体育館)</p> <p>○ 個人情報の保護対策としては、法や条例に基づき諸規定を整備している。</p> <p>○ 緊急連絡体制やマニュアルが整備されている。</p> <p>○ 毎日の巡回により管理物件の異常の早期発見に努めるとともに、軽微な修繕については直ちに行っている。</p> <p>○ 独自の安全管理マニュアルに基づく定期点検や消防訓練、心肺蘇生法・AED講習も行っている。</p> <p>○ 感染症対策の一環として、主要施設のトイレ手洗い蛇口等の自動化が進められている。</p> <p>○ プール利用期間開始前に水泳プールにおいて緊急事態の発生を想定した救助訓練を実施している。</p>				

【選定委員の意見】

- 平等な施設利用や関連法令の遵守等の基本的事項や、芝生や植栽等の緑地管理、自主事業やサービス改善提案事業等の利便性向上を図る取組についても計画どおり実施されている。これらを総合的に勘案すると、指定管理者が選定時に示した基本方針である「県民が利用しやすく、安全・安心で清潔・快適な公園作り」は達成されていると言える。

【総合評価】

合計得点(100点満点)	84	評価ランク(A~E)	B
<p>〔評価の理由〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の管理は問題なく行われている。また、地元や関係団体との連携もうまく行われている。利用者の満足度も概ね高い。22年度に引き続き、23年度も指定管理要件である年間の利用人員及び利用料収入を達成し、いずれも増加している。 <p>〔今後の対応〕</p> <p>(大洲総合運動公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 硬式野球場(新大分球場がネーミングライツにより別大興産スタジアムに改名。)が24年6月2日リニューアルオープンされたことにより、一層の利用者誘致の取組が期待される。 (大分県立総合体育館) ○ トレーニングマシンのリニューアルに伴い、指導体制の充実など幅広い利用者獲得への取組により、一層の利用促進が図られることが期待される。 			

【指定管理者評価部会の意見】

- 県民の体育・スポーツ振興の総合施設として健全に管理され、かつ、安心・安全・清潔・快適に注力した運営を行うとともに、指定管理者がISO9001を取得し、PDCAサイクルに基づく管理を実践するなど高い意識で取り組んでいることは評価できる。
- 目標指標である利用者数については、達成率が120%となり、評価できる。
- 近隣の公立・私立高校に部活動での利用を積極的に促すことで、利用者数が増加し、さらに高校側の運動施設の不足も解消にもつながるのではないかと期待される。
- 公園に関する利用者満足度調査については、サンプル数が49件と少なく、利用目的ごとの満足度が把握できないので、サンプル数を増やす必要がある。